

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2025/12/31	2026/5/29	2026/5/29	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	50,339.48	66,329.50	66,329.50	66,505.02	2026/5/29	30,487.67	2023/10/4
NYダウ	ドル	48,063.29	51,032.46	51,032.46	51,094.18	2026/5/29	32,327.20	2023/10/27
円/ドル	円	156.71	159.27	159.27	161.95	2024/7/3	137.25	2023/7/14

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～ 米国とイランの戦闘終結への期待などから上昇 ～

先週の日本株市場は、日経平均が+2,990.43円(+4.72%)、TOPIXが+64.71ポイント(+1.66%)となり、米国とイランの戦闘終結への期待などから上昇しました。業種別でみると、金属製品、空運業、電気機器などの22業種が上昇した一方、鉱業、銀行業、卸売業などの11業種が下落しました。

25日は、先々週末のSOX(フィラデルフィア半導体)指数の大幅上昇や、トランプ米大統領が自身のSNSにイランとの戦闘終結に向けた合意が近く発表されると投稿したことなどが好感され、史上最高値を更新しました。26日から27日にかけては、米国とイランが戦闘終結で合意し、約30日後にホルムズ海峡を開放すると報じられたことなどが相場を下支えしたものの、前日までの上昇の反動などから、反落しました。28日は、米軍によるイランの軍事施設への攻撃が伝わったことで、投資家の戦闘終結に向けた期待感が後退し、3日続落となりました。29日は、米国とイランが停戦期間を60日間延長し、今後のイランの核開発について協議することで合意したと報じられたことに加え、前日の米国株市場でAIデータセンター関連の需要拡大期待を背景に主要指数が最高値を更新したことなどが好感され、反発しました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
6月1日	Mon	日本	法人企業統計(設備投資、除ソフトウェア、前年比)	1-3月期	7.3%
		欧州	失業率	4月	6.2%
		米国	ISM製造業景況指数	5月	52.7
6月2日	Tue	欧州	CPI(消費者物価指数)(除食品・エネルギー・たばこ/前年比)	5月	2.2%
		米国	JOLT求人数	4月	+686.6万件
		日本	植田日銀総裁、共同通信社きさらぎ会で講演		
6月3日	Wed	米国	ADP雇用統計	5月	+10.9万件
			製造業受注(前月比)	4月	+1.5%
			ISM非製造業景況指数	5月	53.6
			地区連銀経済報告(ベージュブック)公表		
6月4日	Thu	欧州	小売売上高(前月比)	4月	▲0.1%
			毎月勤労統計-現金給与総額	4月	+3.1%
6月5日	Fri	日本	景気一致指数	4月	116.4
		日本	景気先行CI指数	4月	114.0
		米国	非農業部門雇用者数変化	5月	+11.5万人

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～ 米国とイランの戦闘終結や企業業績への期待から、堅調に推移 ～

今週の日本株市場は、米国とイランの戦闘終結や企業業績への期待から、堅調に推移するとみます。

先週、米国とイランが停戦延長に向けて暫定合意したと伝わり、内外の株価は大きく上昇しました。その後、週末30日にはトランプ米大統領が「イランの濃縮ウランの処分に関する具体的な記述を入れる修正を求めた」と報道されるなど、双方から修正案が提示されている模様で最終合意まで紆余曲折が予想されます。しかしながら、協議が決裂し戦闘が再度激化する可能性は低下しており、合意に向けた期待は維持されるとみます。また、2026年度の企業業績について本日(6月1日)発表された1-3月期の法人企業統計において、経常利益は前年同期比+14.6%と予想を大きく上回りました。設備投資金額も高水準を維持しており、イラン戦争を巡る不透明感はあるものの、日本企業の業績期待は維持されるとみます。なお、3日に植田日銀総裁が講演を行います。追加利上げに前向きな姿勢を示し日銀がビハインド・ザ・カーブに陥っているとの警戒感が薄れ国内長期金利の安定に繋がるか注目しています。その他の注目材料として、日本では5日の毎月勤労統計、米国では1日のISM製造業景況指数、2日のJOLTS求人数、3日のベージュブックの公表、欧州では2日のCPI、4日の小売売上高などが挙げられます。